

嵯峨野線 臨時列車運転・両数変更のお知らせ(1～3月)

嵯峨野線では、昼間時間帯を中心に多くのお客様にご利用を頂いていることから、現在、ご利用にあわせて臨時列車の運転および両数を増やして運転しています。

1月1日～3月15日においても、一部列車で両数を増やすとともに、土休日は京都～嵯峨嵐山・亀岡駅間で臨時列車を運転します。なお、三連休は臨時列車および両数を増やす列車の本数をさらに拡大します。

1. 概要

		臨時列車	両数を増やす列車
1/1～5,9～31 2/1～9,13～22,26～29 3/1～15	平日	0本	26本
	土休日	6本	34本
1/6～8 2/10～12,23～25	三連休	10本	57本

※本数は1日あたり

※両数を増やす列車は、4・6両編成の列車を6・8両編成に変更します

※サッカーなどの沿線イベント開催時は、上記の本数を変更する場合があります

○嵯峨野線では、2024年3月16日ダイヤ改正以降、昼間時間帯の京都～嵯峨嵐山駅間で普通列車を6往復12本増発し、普通列車は約15分間隔で運転します。また、6・8両編成で運転する列車の本数を増やします

○ダイヤ改正以降も行楽シーズンや沿線イベント開催時には、ご利用にあわせて臨時列車の運転および両数を増やして運転する予定です

2. その他

現在、車内の混雑緩和およびスムーズな乗降を行っていただくため、以下の対応を実施中です。

○補助シートをご利用いただける時間帯の縮小

※一部、補助シートが設置されていない車両があります

○座席が3列で通路部分広い車両を一部列車で運転

※車両運用上の都合により、運転しない日があります



補助シート



座席が3列の車両

今回ご案内の取り組みは、SDGs17のゴールのうち、特に11番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

